



新年のご挨拶

公益財団法人星総合病院 理事長 星北斗

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残る中、法人各施設の様々な強みを活かし、さらに連携を強化することにより、法人の総合力を発揮した一年でした。

今年が開設100周年という重要な節目の年です。そして、待望久しい「おおまちてらす」がいよいよオープンします。地域の皆様に育てていただいた100年の過程で得られた、多くの経験や貴重なご意見などを集積した施設です。医療を主体としながらも、新しい形で地域の皆様の健康・幸せ・福祉そして明るく活気のあるまちづくりに貢献してまいります。

「おおまちてらす」のオープンにどうぞご期待ください。

星総合病院 病院長 渡辺直彦

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年につき、国際紛争や自然災害など国内外を問わず私たちの暮らしに大きな影響が懸念される事態が続いています。また、物価高騰による医療経済への影響は深刻です。このような状況で、私たちは地域の方々の健康を守るために、お互いに力を合わせて困難な状況を乗り切っていかなければなりません。皆様の引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、今年が開設100周年にあたります。さらに、旧病院跡地に新複合施設「おおまちてらす」がオープンし飛躍の年になります。職員一丸となって力を合わせて前進していきましょう。



新年のご挨拶

町立三春病院 病院長 渡辺文明

新年あけましておめでとうございます。

昨年は病床機能変更があり大変厳しい財政状況となっております。国の医療費が毎年増大しているのは高齢者が増加していること、また医療が高度化されそれに伴う費用が増大しているためであり当然のことです。さらに物価高騰が追い打ちをかけている状況です。我々医療従事者はできるだけ医療資源を無駄にしないよう努力していますが国の政策として根本から見直していただきたいところです。今後阿武隈山系の人口も減少し続けることが予想されますが、地域の医療を担う病院として引き続き役割を全うしていく所存です。よろしくご指導のほどお願いいたします。

たむら市民病院 病院長 佐瀬 道郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なるご高配を賜りまして誠に有難うございました。

大方病院から事業継承し、たむら市民病院として開院して丸5年が経過しました。法人各部署の皆々様方のお力添えのお陰で最初の5年間を乗り越えることができ、4月には田村市と新たに5年間の指定管理の契約を行いました。この場をお借りして御礼申し上げます。4月には、念願の内科常勤医師の奥田隆博先生を副院長として迎えることができました。奥田医師は、温厚で優しい性格の持ち主であり病棟の雰囲気以前より良くなった？と言われているようです。彼の入職以降、健診やワクチン業務も充実してきました。8月には田村市議会で新病院建設事業者との契約についての案件がやっと可決され9月14日に安全祈願祭が執り行われました。新病院への移転は令和8年末から令和9年初めの見込みでまだまだ先ですが、新病院開院に向け大きく前進した年でした。

田村市民の皆様健康管理や医療提供が当院の職責であるため、今後より一層、健診業務の充実、高齢者医療への対応に力を入れていきたいと考えています。

令和7年も職員一丸となって田村市の皆様に信頼される市民病院であるように努めて参る所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





新年のご挨拶

介護老人保健施設オリオン 施設長 大貫 朱夏

旧年中はオリオンへのご理解ご協力をいただきありがとうございました。

2024年は年明け早々の能登半島地震速報に、なかなか新年を祝う気持ちになれずに始まりました。被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日でも早い復旧をお祈り申し上げます。10月からの法人全体の改革に伴い、オリオンも施設運用の見直しが行われ、今まで以上に「在宅復帰支援」に力を入れることとなりました。能登の現状を知るにつれ、地方における地域の絆の大切さを改めて感じました。在宅復帰後だけでなく、施設そのもののご利用がない方々の支援もいつ何時でも対応できるよう、本年も地域に向けた活動を積極的に行い、顔の見える関係を少しでも多く築き、困ったときに真っ先に頼っていただける存在でありたいと思っております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎

新春のお慶びを申し上げます。新型コロナウイルスの5類移行に伴って特別扱いしない病気となりました。少しずつ施設内での対応も意識も変わって来たのではないかと思います。今年も注意は怠らず、安全・安心な生活の提供に努めて参りたいと思えます。近年、人手不足や物価高騰、建物劣化等の対応に苦慮する試練の年が続いています。公益財団法人星総合病院と共に知恵を出し合い20数年言い続けている福祉と医療の連携協力を本当の意味でウィンウィンの関係に変えていかななくてはならないと考えています。足元を見つめ、今後を見据えた社会福祉法人の在り方を教示できるよう頑張りたいと思えます。どうぞ本年も宜しくお願い致します。



公益財団法人星総合病院

